

第1回東京都北区新庁舎建設基本計画専門家会議 概要

- 日時 平成30年9月28日(水) 15:30~17:00
- 場所 滝野川分庁舎1階 大会議室
- 次第
 - 1 開会
 - 2 委嘱状の交付
 - 3 委員の紹介
 - 4 委員長及び副委員長の選出
 - 5 議事 (1) 新庁舎建設に関するこれまでの取り組みについて
(2) 王子駅周辺の現況について
(3) 新庁舎建設基本計画策定業務委託のプロポーザル審査結果について
(4) 新庁舎建設基本計画の策定スケジュールについて
(5) 検討方針の作成について
(6) その他 ・次回日程について
 - 6 閉会

●会議概要

- 1 開会
- 2 委嘱状の交付
 - 各委員に対し、平成30年9月28日付で委嘱状が交付された。
- 3 委員の紹介
 - 出席委員が自己紹介した。
- 4 委員長及び副委員長の選出
 - 委員長として佐藤委員、副委員長として小野田委員が選出された。
- 5 議事
 - (1) 新庁舎建設に関するこれまでの取り組みについて
 - 事務局から、検討の経緯、新庁舎建設基本構想、新庁舎建設予定地等について説明があった。
 - 委員意見等
 - ・ まずは書類の電子化と窓口の効率化をしなければならない。一方で、高齢化に伴い、相談窓口では来庁者に寄り添っていくべきだし、健康増進や予防に関する部署を持たなくてはならない。働き方改革を踏まえ、庁舎規模の効率化を図っていかなければならない。

- ・ ファシリティマネジメントの観点から、新庁舎を契機として、公共施設全体の適正化を図ることが必要である。
- ・ 自治体によって、庁舎規模の考え方が違う様子である。サイズの選び方は一番はじめに押さえておくべきところ。どの部署が新庁舎に入るかは妻く重要な議論である。
- ・ にぎわいというものが一つのテーマになっている。すぐに決めるということではできないが、区にはシミュレーションをしておいて頂きたい。

(2) 王子駅周辺の現況について

- 担当部署から、王子駅周辺の現況等について説明があった。
- 委員意見等
 - ・ 今の北区には無いものを作ることを考えなければいけない。駅からのこの距離で新庁舎の交流スペースとなると、コンテンツも考えなければいけない。また、担い手になれる方がいるかどうか。
 - ・ 新庁舎建設予定地の周辺がみんな建物で埋まっている。新庁舎をスケジュールに沿って建設する時に、どんな時期のどんな周辺環境を前提とするのか。

(3) 新庁舎建設基本計画策定業務委託のプロポーザル審査結果について

- 事務局から、プロポーザル審査結果について説明があった。
 - ・ 契約交渉順位第1位は、株式会社松田平田設計だった。
 - ・ 平成30年8月28日、同社と契約締結した。
- 事務局から、プロポーザル提案内容について紹介があった。

(4) 新庁舎建設基本計画の策定スケジュールについて

- 事務局から、策定スケジュールについて説明があった。
- 委員意見等
 - ・ 庁舎の面積算定について、もっと丁寧に掘り下げる必要がある。オフィスの使い方が進歩している。このテーマには時間を使って取り組むべきである。

(5) 検討方針の作成について

- 事務局から、以下のように説明があった。
 - ・ 新庁舎建設基本構想策定後6年が経過し、当時定まっていなかった新庁舎建設予定地が選定されたことから、新庁舎建設基本構想に加除修正を加えた検討方針を定め、平成30年11月の議会にて報告したい。
- 委員意見等
 - ・ 執務空間の想定はよく聞かすが、庁舎以外の機能として交流を生む何らかの機能を入れるか、判断しなれないといけないところがある。
 - ・ どこまで新しいオフィスのあり方を取り入れるか。若手職員は、新庁舎に対して、相当期待しているのではないかと思う。

- ・ 庁舎機能を精査した上で、市民交流等のスペースをどう確保するか。働き方を見直して、庁舎機能を効率化した分、面積を圧縮できる。その分、新しい顔になるスペースを生み出す。全体の金額は増やさない。ただし、何人働いているかを考えないで面積を減らすと問題になる。

- 平成 30 年 10 月の新庁舎建設基本計画専門家会議で方向性を固めることとなった。

(6) その他

- 次回会議日程 平成 30 年 10 月 31 日 午前 9 時 30 分～

6 閉会